



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6927 URL <http://www.heliostec-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 定一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役統括管理部長 (氏名) 川坂 陽一 (TEL)079-263-9500  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,383	14.7	5	—	91	—	289	—
25年3月期第3四半期	6,437	△15.5	△139	—	△76	—	1	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 324百万円( —%) 25年3月期第3四半期 9百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第3四半期	円 銭 17.32	円 銭 16.85
25年3月期第3四半期	0.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26年3月期第3四半期	百万円 11,209	百万円 6,630	% 58.7
25年3月期	9,131	6,340	69.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,585百万円 25年3月期 6,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 8.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,900	15.8	630	79.5	650	50.5	820	84.8	49.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	22,806,900株	25年3月期	22,806,900株
26年3月期3Q	5,943,710株	25年3月期	6,259,410株
26年3月期3Q	16,723,134株	25年3月期3Q	16,547,490株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権による経済対策、金融政策等により円安、株価上昇が進み、日本の経済も回復基調に推移しました。このような経済環境の中、当社グループにおいては、LEDランプの品揃え・拡販、タッチパネル製造装置の開発・販売、更には技術者派遣分野では、積極的M&Aによる事業拡大に尽力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期と比べ9億45百万円(14.7%)増収の73億83百万円となり、営業利益は1億45百万円増の5百万円、経常利益は1億67百万円増の91百万円、四半期純利益は2億88百万円増の2億89百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。なお、各金額についてはセグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

#### ①ランプ事業

ランプ事業につきましては、プロジェクター市場において、業務用・学校教育用プロジェクター等の需要は堅調に推移し、年初からの円安により利益率は改善しましたが、円安による販売の増加にはプロジェクターの開発時期との兼ね合いで一年程度かかる見通しであり、プロジェクター用ランプの売上高は、前年同期比14.6%減の9億21百万円となりました。一般照明ランプについては、節電意識が根付くとともに、LEDランプの販売も順調に伸びてきており、またハロゲンランプ等従来ランプについても堅調な推移をみせ、前年同期とほぼ同額の12億12百万円となりました。一方、露光装置ユニットにおいては、前年同期比251.1%増の9億21百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比18.6%増の35億72百万円となりました。

#### ②製造装置事業

製造装置事業につきましては、スマートフォン、タブレット端末用のタッチパネル製造装置への投資等、意欲的な投資環境に対応するため、積極的に新装置の開発を行った結果、量産機による受注を順次獲得しております。

また、従来機である配向膜製造装置についても、中国において新規設備投資が活発に計画・実施され、当社グループとしても積極的な対応を行っております。

当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比30.1%増の22億34百万円となりました。

#### ③検査装置事業

検査装置事業につきましては、S-L i g h t (検査装置用光源装置)の販売を積極的に展開、UV露光装置の受注をしております。またスマートフォン、タブレット端末液晶及びタッチパネル製造用の外観検査装置(探傷検査装置)の技術開発に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比76.2%増の8億83百万円となりました。

#### ④人材派遣事業

人材派遣事業につきましては、技術者派遣を中心としているため、安定しております。地域密着型の事業の為、スタッフの質的向上、顧客ニーズに合った対応を行い、営業強化を図っておりますが、その地域の業況に左右されることも鑑み、更なる業容拡大を狙い積極的にM&Aを実施、5月に株式会社関西技研を、10月に株式会社テクノ・プロバイダーを当社グループに統合いたしました。

当第3四半期連結累計期間において、売上高は前年同期比4.5%増の14億52百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ23億39百万円増加し、84億21百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が4億66百万円減少した一方、現金及び預金が10億82百万円、仕掛品が14億29百万円、前渡金等を含むその他が2億20百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億61百万円減少し、27億88百万円となりました。その主な要因は、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加等により投資その他の資産のその他が1億2百万円増加した一方、遊休資産となっていた不動産の売却により有形固定資産の土地が3億96百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ20億78百万円増加（22.8%増）し、112億9百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ16億30百万円増加し、37億71百万円となりました。その主な要因は、前受金が17億63百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億58百万円増加し、8億8百万円となりました。その主な要因は、資金の借入により長期借入金が2億64百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ17億89百万円増加（64.1%増）し、45億79百万円となりました。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億89百万円増加（4.6%増）し、66億30百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当を1億32百万円行った一方、四半期純利益が2億89百万円あったことに加え、株式交換により自己株式が79百万円減少、保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が34百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、主に上述の総資産及び負債の増加を受け、前連結会計年度末に比べ10.5ポイント低下し、58.7%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年11月8日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,632,778	2,715,685
受取手形及び売掛金	2,794,709	2,327,895
商品及び製品	217,280	318,413
仕掛品	876,968	2,306,055
原材料及び貯蔵品	454,398	427,041
その他	114,750	335,697
貸倒引当金	△9,309	△9,368
流動資産合計	6,081,576	8,421,421
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	880,273	890,555
土地	1,260,686	864,272
その他(純額)	461,590	448,952
有形固定資産合計	2,602,550	2,203,780
無形固定資産		
のれん	60,205	116,437
その他	90,547	68,872
無形固定資産合計	150,753	185,309
投資その他の資産		
その他	345,324	448,199
貸倒引当金	△49,107	△48,867
投資その他の資産合計	296,216	399,331
固定資産合計	3,049,520	2,788,422
資産合計	9,131,096	11,209,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	910,521	831,841
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	239,400	251,024
未払法人税等	88,737	—
前受金	72,556	1,836,208
賞与引当金	195,131	87,760
製品保証引当金	16,582	21,052
工事損失引当金	35	5,915
その他	418,074	537,810
流動負債合計	2,141,038	3,771,612
固定負債		
長期借入金	268,400	532,956
繰延税金負債	193,772	124,979
その他	187,125	150,258
固定負債合計	649,297	808,193
負債合計	2,790,336	4,579,806
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,133,177	2,133,177
資本剰余金	2,563,867	2,563,867
利益剰余金	3,161,830	3,315,502
自己株式	△1,567,420	△1,488,365
株主資本合計	6,291,455	6,524,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,480	60,913
その他の包括利益累計額合計	26,480	60,913
新株予約権	22,825	44,943
純資産合計	6,340,760	6,630,037
負債純資産合計	9,131,096	11,209,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,437,954	7,383,695
売上原価	4,768,697	5,260,590
売上総利益	1,669,256	2,123,104
販売費及び一般管理費	1,809,089	2,117,379
営業利益又は営業損失(△)	△139,832	5,724
営業外収益		
受取利息	83	66
受取配当金	7,231	7,377
負ののれん償却額	30,114	30,114
貸倒引当金戻入額	17,702	869
為替差益	4,219	811
投資有価証券評価損戻入益	—	45,042
雑収入	53,008	26,940
営業外収益合計	112,360	111,224
営業外費用		
支払利息	11,770	6,144
投資有価証券評価損	21,051	—
シンジケートローン手数料	13,970	14,659
雑損失	2,013	4,535
営業外費用合計	48,806	25,339
経常利益又は経常損失(△)	△76,278	91,609
特別利益		
固定資産売却益	—	136,396
特別利益合計	—	136,396
特別損失		
固定資産除却損	—	3,666
特別損失合計	—	3,666
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△76,278	224,339
法人税、住民税及び事業税	9,892	20,753
法人税等調整額	△87,174	△86,135
法人税等合計	△77,282	△65,381
少数株主損益調整前四半期純利益	1,003	289,721
四半期純利益	1,003	289,721



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,003	289,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,616	34,433
その他の包括利益合計	8,616	34,433
四半期包括利益	9,620	324,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,620	324,154
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	2,984,658	1,717,722	403,359	1,332,213	6,437,954	—	6,437,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,766	150	98,071	58,315	183,303	△183,303	—
計	3,011,425	1,717,872	501,431	1,390,529	6,621,257	△183,303	6,437,954
セグメント利益又は損失(△)	151,604	△94,853	36,791	18,163	111,706	△251,539	△139,832

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△251,539千円には、セグメント間取引消去△17千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△251,522千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ランプ事業	製造装置 事業	検査装置 事業	人材派遣 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	3,520,179	2,234,510	212,075	1,416,929	7,383,695	—	7,383,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	52,636	—	671,630	35,671	759,938	△759,938	—
計	3,572,816	2,234,510	883,705	1,452,601	8,143,634	△759,938	7,383,695
セグメント利益	147,629	17,949	91,460	38,051	295,090	△289,366	5,724

(注) 1 セグメント利益の調整額△289,366千円には、セグメント間取引消去2,659千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△292,026千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、株式会社テクノ・プロバイダーの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「人材派遣事業」のセグメント資産が405,512千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「人材派遣事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式会社テクノ・プロバイダーの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において106,721千円であります。